#### DISPLAY CONTROL SYSTEM FOR ON-VEHICLE DEVICE

Publication number: JP2000043652

Publication date: 2000-02-15

Inventor: ITSUKI ISAMU; YANAGISAWA TETSUYA; YASUMOTO TAKASHI; SOMEYA MASARU; YOSHIZAWA SHIGEO;

NAGAYAMA SHUICHI

Applicant: ALPINE ELECTRONICS INC

Classification:

-international: G01C21/00; B60R11/02; G08G1/0969; G01C21/00; B60R11/02; G08G1/0969; (IPC1-7); B60R11/02;

G01C21/00; G08G1/0969

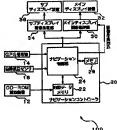
- European:

Application number: JP19980230295 19980731 Priority number(s): JP19980230295 19980731

Report a data error hore

#### Abstract of JP2000043652

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a diaginary control system for on-vehicle device capable of grassing indicating contents easily. SOLUTION: A navigation controller of a detailed upon the second of a vehicle year instruction for developing a detailed upon the second of a vehicle year instruction for developing a detailed simple find inage while driving, to a main diaplay image processing part 30 develops a detailed image or a implified image according to the instruction of the navigation controller to the second of the second of



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

#### (19)日本:**3特許**庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公園番号 特開2000-43652 (P2000-43652A)

(43)公開日 平成12年2月15日(2000.2.15)

(51) Int.CL7	戲別記号	FΙ		テーマコード( <b>参考)</b>
860R	11/02	B 6 0 R 11/02	С	2F029
G01C	21/00	CO1C 21/00	Λ	3 D O 2 O
GDSG	1/0969	G 0 8 G 1/0969		5H180

# 警査請求 未請求 請求項の数5 FD (全 8 頁)

(21)出數番号	特膜平10-230295	(71)出劇人	000101732 アルバイン株式会社
(22) 打動日	平成10年7月31日(1998.7.31)		東京都品川区西五反田1丁目1番8号
		(72)発明者	五木 勇
			東京都品川区西五反田1丁目1番8号 ア
			ルパイン株式会社内
		(72)発明者	柳沢 微也
			東京都品川区西五反田1丁目1番8号 ア
			ルパイン株式会社内
		(74)代理人	
			弁理士 南貝 正彦
		I	

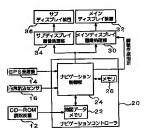
# 最終頁に続く

# (54) [発明の名称] 車載用装置の表示制御方式

#### (57)【要約】

【課題】 表示内容を容易に把握することができる車載 用装置の表示制御方式を提供すること。

【解決兵役】 ヤビゲーション制制第24は、自東の走 行憲度を算出し、メインディスアノイ高型処理部30に 対して、停車中の場合には詳細画像を作成するように指 示を出し、実行中の場合には臨時需後を作成するように 指示を出す。メインディスアレイの環境処理部30は、ナ ビゲーション制制部24の指示に従って詳細画像あるい は簡単高機を作成し、この作成された画像は悪球形が に数量されたメインディスアレイ画像処理部34は詳細画像 を作成し、この作成されて画像は洗尿形が排出 を作成し、この作成されて画像は洗尿形が排出版業 なたサブディスアレイ画像が洗尿形が排出版業





#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 車両の走行速度を判定する走行速度判定 手段と、

運転者用の第1の表示画面と運転者以外の搭乗者用の第 2の表示画面とを表示する表示手段と、

前記生行返東判定手段によって判定された前記生行逐度 が所定のしき、確以下である場合に、前記第1の表示画 配に表示する内容と前記第2の表示画面に表示する内容 とを同じにする制御を行い、前記定行速度が所定値以上 である場合に、前記第1の表示画面の内容を前記第2の 表示画面の内容よりも簡略化する制御を行う表示刺獅手 段と

を備えることを特徴とする車載用装置の表示制御方式。 【請求項2】 請求項1において、

前記所定のしきい値は0km/hであり、前記表示制御 手段は車両が定行中であるか停車中であるかによって前 記第1の表示画面の内容を切り替えることを特徴とする 車載用接高の表示制御方式。

【請求項3】 請求項1または2において、

前記表示手段は、運転席近傍に設置されて前記第1の表 示画面を表示する第1の表示装置と、後都座席近傍に設 置されて前記第2の表示画面を表示する第2の表示装置 を有することを特徴とする車載用装置の表示制御方式。

【前求項4】 前求項1~3のいずれかにおいて、 前記表示例約手段は、前記第1の表示頑面に表示する群 細面優治よび簡略面像のいずれかを作成する第1の面像 処理部と、前記第2の表示頑面に表示する詳細面像を作 成する第2の面優処理能と考しており、

前記第10両儀処理部は、前記を行速度判定平段によっ て判定した前記を行速度が前記しきい確以下である場合 に前記計額確保を作成し、前記を行速度が前記しきい値 以上である場合には前記額略画像を作成することを特徴 とする重銀用設置の表示制御方式。

【請求項5】 請求項1~3のいずれかにおいて、

前記決示制御手段は、同じ内容に対応した詳細画像と簡 略画像を作成する第3の画像処理部と、新記定行速度が 前記しもい値以下であるときに前記許細画像を選択し前 記定行速度が前記しきい値以上であるときに前記簡略画 像を選択せる画像選択部とを有しており、

前記画像選択部によって選択された画像を前記第1の表 示面面に表示するとともに、前記画像処理部によって作 成された前記評組画像を前記第2の表示面面に表示する ことを特徴とする車載用接近の表示細質方式。

【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、ナビゲーション装 置等の車載用装置において複数の表示画面に各種情報の 表示を行う車載用装置の表示制御方式に関する。

#### [0002]

【従来の技術】最近の車両には、ナビゲーション装置や

CDアレーヤ等の各種の無限計談置が指載されている。 これらの車銀用装置には、各種の情報を表示するために ディスアレイ装置が備わっている。例えば、ナモゲーション装置に備わったディスアレイ装置には、自車位置加 別の他回画像や目的地までの経路情報等が表示される。 また、CDアレーヤに備わったディスアレイ装置には、 再生、早送り等の操作状態や演奏時間。曲目データ等の 海楽的客にかった各個情報が表示される。

【0003】また、最近では専両の高級化や大型化に件って、2つのディスプレイ装配が接続された車動料装置 ある。例えば、一方のディスプレイ装置が建築機をはた車動料装置 手庫の間に設置し、他方のディスプレイ装置を接近を接触の 的前方に設置することとにより、運転者や助手部の残余者 の前方に設置することとにより、運転者や助手部の残余者 示された各種の情報を見ることができるようになってい るん

### [0004]

【発明が解決しようとする課題】ところで、上述した2 つのディスプレイ装置を有する従来の車載用装置では、 2つのディスプレイ装置に同じ情報が表示される。した がって、運転者とそれ以外の搭乘者とが共通の情報を見 ることになるため、走行状態によっては表示内容の把握 が容易ではなかった。例えば、運転者は、車両の走行速 度が強くなるにしたがって画面を注視できなくなるた め 細かい文字情報等を読むことが困難になる。これに 対して、運転者以外の搭乗者は、走行速度にかかわらず 細かい文字情報を読むことができる。したがって、細か い文字情報を読むことができる運転者以外の搭乗者にあ わせて、各種情報が含まれる表示画面を作成すると、車 面を運転中の運転者にとっては細かい部分が理解できな いことになる。反対に、道転者が把握できる程度の文字 や記号等の大きさで各種情報が含まれる表示画面を作成 すると、表示できる情報量が極端に少なくなるため、運 転者以外の搭乗者にとって詳細情報の把握が困難にな ۵.

【0005】本発明は、このような点に鑑みて創作されたものであり、その目的は、表示内容を容易に把握することができる単級用装置の表示制御方式を提供することにある。

#### [0006]

【課題を解決するための手段】上述した課題を解決する ために、本発別の重視用装置の表示制度がでは、車両 加え行産が所定のしまい値以下である場合に第1の表 示面面に表示する内容と第2の表示画面に表示する内容 とを同じ止する表示制御を行い、走行速度が所定値以上 である場合に第1の表示画面の 内容よりも簡略化する表示制御を行っている。このよう に、複数の表示画面のいず社かの表示対象を走行速度に むじて変えることには、光行車両を運転中の運転者に しては思想が解ると簡単化された内容の表示画面を提 供し、他の格乗者に対しては詳細な情報を得ることができる詳細な内容の表示画面を提供することができるため、いずれの者も容易に内容を把握することができ、しかも、必要な情報を得ることができる。

[0007]上述した所定のしきい機は20km/hとすることが許ましい。すなわち、車両所停車中には選転者 表示画面を出現することができるため、他の発展者と 同じ画盤を表示することにより、運転者に対しても多く の情報を提供することができる。また、車両が乗り出し た後は、表示画面を注損することができないなか。 内容を簡略化することにより、表示内容の把握が容易に なるととした。必要長小根の情報のみを運転者に伝える ことができる。

[0008]また、上述した第1822の表示順面 を有する表示手段としては、運転席近所と設置されて第 の表示面面を表示する第10表示機能と、後極原症 保に設置されて第2の表示調面を表示する第2の表示装置 を幅えることが好ましい、このように2つの表示装置 を隔なった位置に設置することにより、指乗者全員に各 種の情報を提供することができる。

[0009]また、上述した東示朝的を行うために、第 1の表示画面に表示する詳細面像および簡単面像のいず たかを作成する第1の面像及地球部と、第2の表示画面に 表示する詳細面像を作成する第2の面像処理部とを構る さとか好ましい。第1の画像処理部とよって中成され る画像の内容を走行速度に応じて変えることにより、運 転者による内容の把版が容か直徹を第1の表示両面に 表示することができる。

[0010]あるいは、上述した表示場解を行うため に、同じ内容に対応した詳細菌像と簡略高像を作成する 第3の高線処理態と、走行速度に応じて詳細菌像と簡略 画像のいずれかを選択する直像選択部とを備えることが 好ましい。あるかいの用葉されてお言組画度と関係 像の中からいずれか一方を走行速度に応じて漢宜選択す ることにより、運転計によら内容の理動が需分と画像を 第1の表示画面に表示することができる。

[0011] 【発明の実施の形態】本発明を適用した一実施料態のナ ビゲーション装置は、運転施運務と徐称座施近傍に別々 に設置された2つのディスアレイ装置を再しており、運 転席近傍のディスアレイ装置の表示内容と、会雑変が存金と、会社等が 情のディスアレイ装置の表示内用とを異ならせることに 特徴がある。以下、一実施形態のナビゲーション装置に いていて関西と参照しながら限明であ。なお、以下では、 運転施生賃的ディスアレイ装置を「メインディスアレイ 装置」、後部庫売近傍のディスアレイ装置を「サデディ スアレイ装置」と続して影響を見か

【0012】(1)ナビゲーション装置の構成 図1は、本実施形態のナビゲーション装置の絆細な構成 を示す図である。同図に示すナビゲーション装置100 は、CD-ROMに記録された地図データの読み取りを 行うCD-ROM読取装置12と、専門位置、方位、走 行電視を検出するためのGPS受信機14および日津航 法センザ16と、マップマッチング処理や経路解解処理 審を行うデビゲーションコントローラ20と。自要の 周辺の地図画像等の各種の情報を表示するためのメイン ディスアレイ画を処理部30、メインディスアレイ表型 32、サブディスアレイ価を観路334、サブディスア レイ装置36とを含んで構成されている。また、上述し たオビゲーションコントローラ20は、CD-ROMか ら該小机にが起データを一場のに絡射する地図データ メモリ22と、各種の演集処理を行うナビゲーション制 郷路24と、ナビゲーション制御部24による演算結果 を植物するメモリ26を含んで構成されている。

【0013】CD-ROM認即装置 12は、装備された あるいは複数的のD-ROMから地型データを読み 取り、この読み取った地図データを地図データメモリ2 2に向けて出力する。地図データには、9 地図券にため 変な各種のデータからなる前屋ニット、8 マクッフマッ チングや経別終策、経路誘導等の各種の処理に必要なデ ークからなる速度ニット、9 本施度の評価計一タか なな支差点エット、8 本施度の評価情報データ(各 施設の名称、任所、電影音号、音楽時間等)等が含まれ ている。また、上並した精度ニットには、株型の 等を表示するための背景レイヤのデータ、市町村名や進 路名略を表示するための文字レイヤのデータが含まれて いる。

【0014】GPS受信機14は、複数のGPS機長から送られてくる電波を受信して、3分元測位が埋発され は2次元階位別地を行って両中の絶対位置および方位を 計算し、これらを測位時間ともに守ビゲーション制御 据24に出力する。自律結法とサリ16は、専門観転角 度を相対方位として検出する経動ジャイロ等の角度セン サと、所定年行即等の1個のパルスを加する路職と サと、形定中行降が1個のパルスを加する路職と し、これらをナビゲーション制御部24に向けて出力する。

【0015】 地図データメモリ22は、CD-ROM競 取装置 12から出力される地図データを一時的に格納し てあり、この地図データは、各種の演算処理の際にナビ ゲーション制御第24によって読み出される。

[0016] ナビゲーション制御部24は、GPS受信 棚143と15日律航法センサ16の各機出デークに基づ いて日草位置を計算し、計重した日単位置が地図データ の道路しない場合には自単位置を修正するマッフマッ ナング処理を行う。また、ナビゲーション制御部24 は、地図データメモリ22に維納されている地図データ を読み出して各種の海楽処理を行う。例えば、ナビゲー ション制物部24は、あらかじめ設定された目的地と出 売地との間を所定の条件下で結ぶ走行路路を探索し、そ の結果をメモリ26に格納する。

【0017】また、ナビゲーション制御部24は、GP S受信機14および自律航法センサ16の各検出データ に基づいて自車の走行速度を計算し、自車が停車中の場 合にはメインディスプレイ画像処理部30に対して詳細 な情報が含まれる画像(以下、「詳細画像」と称する) を作成するように面像作成指示を出し、自恵が非行中の 場合にはメインディスプレイ画像処理部30に対して簡 略化した情報が含まれる画像(以下、「簡略画像」と称 する)を作成するように画像作成指示を出す。さらに、 ナビゲーション制御部24は、画像作成に必要なデータ (地図データに含まれる横面ユニットのデータや各施設 の詳細情報データ等)をメインディスプレイ画像処理部 30やサブディスプレイ面像処理部34に出力する。 【0018】メインディスプレイ画像処理部30は、選 転席近傍に設置されたメインディスプレイ装置32に対 する表示制御を行っており、ナビゲーション制御部24 から画像作成指示がなされると、地図画像や各種の施設 情報の画像等を作成する。作成された画像はメインディ スプレイ装置32に表示される。

【0020】サブディスプレイ面像処理部34は、後部 単窓近野に鳴わったサブディスプレイ装置36に対する 表示制物を行っており、ナビゲーション制御824から 出力される面像作成に必要なデータに基づいて、図2 (A) に示した詳細面像と作成し、サブディスプレイ装置 図36に出力する。したがって、サブディスプレイ装置 36には常に詳細面像が集示される。

[0021]上述したGPS受信機14。自韓拡先セサ サ16、ナビケーション制御部24分紀行選訴契約 に、メインディスアレイ衛後処理第30、サプティスア レイ衛後処理第34、ナビゲーションコントローラ20 が表示側帯与は、メインディスアレイ装置23万円 手段の第1の表示装置に、サブディスアレイ装置236が 表示手段の第2の表示装置にそれぞれ対応する。また、 メインディスアレイ需象処理第30が第1の衝痕処理部 に、サブディスプレイ画像処理部34が第2の画像処理 部に対応する。

【0022】このように、本実施形態の中ビゲーション 装置10つでは、車両が長行中は、運転施工所に設定 れたメインディスアレイ装置3とで、回転画像が参示され、鉄値悪原が表示され、鉄値悪原が表示される。したかって、車両を運転内容 を確実に把握することができ、鉄管速原の将業制は、詳 超面像を見ることによって4種の評解情報を構築しませ、 することができる。また、使申は重能振光度のメイン ディスアレイ装置32に詳細面像が表示されるため、表 示面面を注視してその内容を確実に把握することができ 太

【0023】ところで上述した実施形態では、自車が走 行中か停車中かを判断した結果に基づいて、メインディ スプレイ両像処理部30において詳細画像および簡略画 傷のいずれかを作成するようにしたが、常にこれら2種 類の画像を作成しておいて、車両が走行中であるか否か によっていずれかの画像を選択するようにしてもよい。 【0024】図3は、ナビゲーション装置の変形例の詳 細な構成を示す図である。同図に示すナビゲーション装 置200は、CD-ROMに記録された地図データの読 み取りを行うCD-ROM読取装置212と、車両位 置、方位、走行距離を検出するためのGPS受信機21 4および自律航法センサ216と、マップマッチング処 理や経路探索処理等を行うナビゲーションコントローラ 220と、自車位置周辺の地図画像等の各種の情報を表 示するための画像処理部230、画像選択部232、メ インディスプレイ装置234、サブディスプレイ装置2 36を含んで構成されている。また、上述したナビゲー ションコントローラ220は、CD-ROMから読み出 した地図データを一時的に格納する地図データメモリ2 22と、各様の演算処理を行うナビゲーション制御部2 24と、ナビゲーション制御部224による演算結果を 格納するメモリ226を含んで構成されている。

【0025】CD-ROM説取装置212、GPS受信 機214、自弊統法センサ216、担処データメモリ2 22は、それぞ規則に示したサビテンョン設定 00を構成するCD-ROM説取装置12、GPS受信機 14、自嫌統法センサ16、地図データメモリ22と同 機の動物を行っている。

【0026】ナビゲーション制算部224は、図1に示したナビゲーション制算部24と同様に、自車位置を修正するマップマッチング処理や経路深級処理等の各種の演算処理を行う。また、ナビゲーション制御部224 は、GPS受信後214とおび日本の大学では、19年の大学には、19年の大 の場合には画像選択部232に対して簡略画像を選択するように指示を出す。さらに、ナビゲーション制御部2 24は、再像作成に必要なデータ(例えば地図データに きまれる各様級の詳細情報データや指面ユニットのデー タ等)を面接処理部230に出力する。

[0027] 国像処理部230は、ナビゲーション制算部224から出力される確保性成に必要なデータにあって計画機を開始の両方を設する。そして、メインディスアレイ装置234に対しては詳細関係と関係しては計画値像の両方が出力され、サブディスプレイ装置236に対しては詳細画像のかが出力される。なお、絶対画像のように簡単画像がたい場合には、同じ内容の評細画像と物味面が作成される。

[0028] 兩條選択部232は、メインディスプレイ 装置234に表示される面像を選択する。具体的には、 面に異対策322は、ナビゲーション制御部224から 出力される画像選択指示に応じて、自車が停車中の場合 には詳細面像を選択し、自車が実行中の場合には随路画 像を選択する。選択された画像はメインディスプレイ装 置234に表示される。

【0029】上述したGPS受信機214、自律就法センサ216、ナビゲーション制御路224が走行強度対 定手段に、画版契配第230 通報武術第232、ナビ ゲーションコントローラ220が表示傾手段に、メイ ゲーションコントローラ220が表示傾手段に、メイ ンディスアレイ装置236が表示手段の第1の表で表面 に、サブディスアレイ装置236が表示手段の第2の表 示装置とそれぞれ均分する。また、面象処理落230が 第30面面倒距離に対応する。

【0030】このように、本実施物郷のナビゲーション 装置200では、面便処理施230によって詳細同復と 場際面優の両方が作成され、運転体が近い配置されたメ インディスプレイ装置234に対しては、これら2つの 面像の中の一方が重両の進行状態に応して選択されて表 元される。したかで、東両を運転中の運転相は、簡略 面像を見ることによってその表示内容を確実に把握する ことができ、技能原席の将東着は、野衛 によって各種の詳細情報を確実に把握することができ る。また、停車中は運転形式傍のメインディスプレイ装 置32に詳細面像が表示だれるため、運転者は表示範 置32に詳細面像が表示だれるため、運転者は表示範 を注視してその時を軽壊に把握することができる。 【0031】なお、本発明は上記実施形態に限定される。

ものではなく、本州が上血で残るが必要にない。 ものではなく、本売別の要請りで養々の変形を接か可能 である。例えば上述した実施形態では、自毎が停車やと 走行中の場合とサイドでメインディ、スプレイ装置 2.2 3.4 に表示される曹傷の内容を変更したが、例えば、自 車の走行速度が10km/h以上の場合には評価関係を表示す るというように、所定の速度を境界値として表示面像の 均容を分打でもたい。

【0032】また、停車中の場合、30km/h未満で

走行中の場合、30km/h以上の場合というように、 3段階あるいはそれ以上に分けてそれぞれの段階に対し たり、アリベロ画像を表示させるようにしてもよい、この場合には、例えば特権の機関によって詳細画像と簡略画像 を切り替える専両速度を変えたり、あるいは3段階の画像 と前にでしまい。

[0033]また、上述した実施形態では、選集帯近傍 を徐藤庫原近傍にディスアレイ装置を配置しているた 、遅を者と助井県の搭乗者とて選集販近傍に配置され たディスアレイ装置と共有していたが、助手販店房に自 ディスアレイ装置と表すしていたが、助手販店房に ディスアレイ装置に、徐彦原店傍に配置されたディスアレイ装置に 保護原店が作配置されたディスアレイ装置に同様に評価価値を表示するように してもよい。

【0034】また、運転幣近傍に配置されたディスプレイ装置達販者と助手線の振乗者とで実有する場合に 低、ディスプレイ装置の表示前に原光用フィルクを設け て、遅底地間から見た場合には定行変度に応じて詳細画 像あるいは簡略画像を見ることができ。助手席助から見 た場合には常に詳細画像を見ることができるようにして もよい。

【0035】また、上述した実施形態では、地図データ に各施設の詳細情報データを含ませておいたが、あらか じめメモリ26に各施設の詳細情報データ等を格納して おいて表示の際に読み出すようにしてもよい。

【0036】また、上述した実施形態では、ナビゲーション装置の表示内容を選択的に切り替えたが、他の車載 用装置の表示、例えばCDプレーヤの表示内容やラジオ 受傷機の表示内容を切り替えるようにしてもよい。

10037] 図4は、図1に示した機能なイーディオ装置を検定した単単用装置の構成を示す図ざる。図4に 示すオーディオ装置300は、各種の資産信号や映像信号等を出力するオーディオソースとしてのCDプレージョントチューナ316と、これらの動作を開降するとともにこれたから入力される音声信号や映像信号を選出出力さるオーディオ制御第318と、オーディオ制御第318は、メインディス・スーディオ制御第318は、メインディス・スープィー 高機処理部30とサブディスアレイ 画像処理部30とサブディスアレイ 画像処理部30とサブディスアレイ 300381オーディオ制御部318は、メインディスプレーである。

アレーヤ312分動作の場合には、再生、早差り等の 操作状態や演奏時間、血目データ等の演奏内容について の各種の情報が含まれる面線の作成に必要なデータをメ インディスアレイ画像処理部30とサブディスアレイ両 像処理館34に出力する、メインディスアレイ両 都30は、ナビゲーション制御部24から画像作成指示 (自車が停車中の場合には詳細面像の作成を指示し、自 車が左行中の場合には簡単高限の表示を指示する)が出 かされると、オーディオ制御部318から出力される面 像作成用のデータに基づいて、上述したCDプレーヤ3 120場件状態や複素内容について情報が含まれる詳細 面像あるいは簡単面像を作成する。作成された画像はメ インディスプレイ装置32に表示される。

### [0039]

【発明の効果】上述したように、本発明によれば、車両の差有速度が所定のしきい億以下できる場合に第1の表 「両面に表示する内容と第2の表示面面に表示する内容 とを同じにする表示制御を行い、走行速度が所定値以上 である場合に第1の表示面面の内容を第2の表示面面の 内容よりも簡単化する表示制御を行いており、程数の表 示面面のいずれかの表示向意を注消度に応じて変える ととにより、表示両本事態を申消速度に応じて変える ととにより、表示両本事態を申消速度に応じて変える が容易と簡単化された内容の表示面面を提供し、他の格 弊者に対しては詳細な情報を持ることができると解れなわ をの表示面面を提供することができるといい、いずれの者 総を持ることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本実施形態のナビゲーション装置の詳細な構成を示す図である。

【図2】メインディスプレイ装置に表示される画像の一 例を示す図である。

【図3】ナビゲーション装置の変形例の詳細な構成を示す図である。

【図4】図1に示した構成にオーディオ装置を接続した 車載用装置の構成を示す図である。

# 【符号の説明】

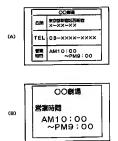
- 12、212 CD-ROM読取装置
- 14、212 GPS受信機
- 16、214 自律航法センサ
- 20、220 ナビゲーションコントローラ
- 24、224 ナビゲーション制御部
- 30 メインディスプレイ画像処理部
- 32、234 メインディスプレイ装置 34 サブディスプレイ画像処理部
- 36.236 サブディスプレイ装置
- 100、200 ナビゲーション装置
- 230 画像処理部
- 232 西像選択部

# 

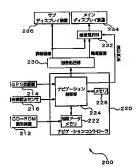
100

【図1】

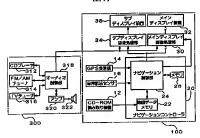
# 【図2】







# [図4]



フロントページの続き

(72)発明者 安本 貴史 東京都品川区西五反田1丁目1番8号 ア ルバイン株式会社内

(72)発明者 染谷 膀

東京都品川区西五反田1丁目1番8号 ア ルパイン株式会社内 (72)発明者 吉沢 成郎

東京都品川区西五反田1丁目1番8号 ア ルパイン株式会社内

(72) 発明者 永山 修一

東京都品川区西五反田1丁目1番8号 ア ルパイン株式会社内

# (8) 開2000-43652 (P2000-43652A)

Fターム(参考) 2F029 AA02 AB01 AB07 AB09 AB13 ACO2 ACO4 ACO8 AC14 AC19

AD02

3D020 BA04 BA06 BB01 BC02 BC07

BDQ5 BEQ3

5H180 AA01 BB13 EE01 FF04 FF05

FF22 FF27 FF32